

砂で逃げる!
 その油断が命のキケン



どしゃ さいがい ぼうし
土砂災害防止についての

絵画・作文を募集します

どせきりゅう
土石流、地すべり、かけ崩れなどの
 どしゃ さいがい
土砂災害のようすや砂防しせつ
 さぼう
(砂防えん堤など)を見学したとき
 み
見たこと、感じたこと、考えたことを
 おく
ドンドン送ってください。

さいくぶん
 来年度、私は高校になりました。進路や将来について考えてきました。それは、平成二十五年十月に伊豆大島地震のあとに伊豆大島の学校で勤務した経験からです。担当の先生は、先生は「私は災害を直接経験していません。でも、災害の話を聞いてきました。その話を聞いて、自分の経験から想像して、絵や文章で表現しました。その絵や文章は、先生に見せました。先生は、私の絵や文章を見て、とても喜んでくれました。先生は、私の絵や文章を見て、とても喜んでくれました。先生は、私の絵や文章を見て、とても喜んでくれました。」

ぼしゅう
 『未来について』のため
 東京都立新宿中学校 三年 眞原 蒼生

かけがえのない命を守るために
 愛知県立柏小学校 六年 木口 颯
 多くの命を奪っている柏地区は、海に近く、南
 海トラフ巨大地震しんが起ころうたら、校区で一
 帯早く津波が来ることを心配しています。そのた
 め津波に備えることはとても大事ですが、そのた
 めはくた方の地域には、もう一つ、大きな心配が
 あります。それは土砂災害です。
 柏地区には、山のしり面や川が多く、土石
 崩れが区域やかけ崩れが起きやすい区域
 があります。それは土砂災害です。
 暗定された場所がなくさんあります。
 雨や大きな流れのとき、山の石が崩れやす
 くなってしまふのではないかと、とても不安にな
 ります。実さいに地域探検で山の道を歩いた
 き、石が崩れを見て、大きな地しんが来たり
 するのが怖くないと思いました。
 そんなに怖くないと思っているのが、
 砂防ダムです。柏地区には二級にわたって砂
 防ダムがあり、山から流れ出てくる土砂、大
 けが、地区に平々まわらせています。

応募について

内容・大きさ 絵画のかき方、大きさは自由。作文は400字詰め原稿用紙で小学生低学年は2~3枚(800~1,200字)、高学年は3~4枚(1,200~1,600字)、中学生は4~5枚(1,600~2,000字)。どちらも未発表のものに限ります。

応募期間 令和8年6月1日~9月15日まで **応募資格** 小学生・中学生

送り先 あなたの住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学年を記入し、都道府県庁砂防主管課「土砂災害防止に関する絵画・作文募集」担当あて

賞 最優秀賞/優秀賞 **発表** 令和9年2月中

表彰 令和9年3月中に国土交通省又は各都道府県において行います。これまでの入賞作品は国土交通省砂防部Webサイトで見るができます。
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/kaiga_sakubun.html



土砂災害ってなに？

大雨などが引き金となって、大量の土砂が崩れたり動いたり、水と一緒に流れたりすることで起こる災害のことです。地震の揺れが直接の原因となって起こる土砂災害もあります。また、大きな地震のあとは、地盤が崩れやすくなっているため、少しの雨や余震でも土砂災害が起きやすくなります。



がけ崩れ(斜面崩壊)

急な斜面が崩れる



- 傾斜が30度以上ある斜面が危ない。
- 大量の雨が地中にしみ込むと起きやすい。
- 大雨の時に一瞬のうちに起こることが多いため、逃げ遅れて助からないおそれもある。
- 雨が止んだ後に起こることもある。雨が止んでも数時間は注意。
- くずれた高さの2倍くらいのところまで土砂がおそってくることもある。



土石流

山から崩れた土や石が、水といっしょになって、ものすごい勢いで流れ下ってくる



- 大雨が発生の引き金になる。梅雨や台風の時期は特に注意。
- 速いときは時速40キロ以上。大きな岩も流してしまう。
- 雪だけ水で発生することもある。



地すべり

やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く

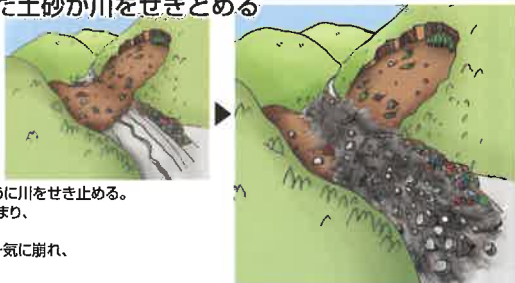


- 雨水や雪どけ水が地中にしみ込んで起こる。
- 家や田畑といっしょに大地がゆっくり動くこともあり、突然一気に何十メートルも動くこともある。
- 地震が原因で起こる地すべりもある。



河道閉塞(天然ダム)

崩れた土砂が川をせきとめる



- 地すべりやがけ崩れの土砂、土石流で流れてきた土砂が、ダムのように川をせき止める。
- 天然ダムの上流側は湖のように水がたまり、家や田畑が水につかる。
- 天然ダムはやがて、たまった水の方で一気に崩れ、下流に土石流が押し寄せる。

がけ崩れの前ぶれ



- ① がけから小石がバラバラ落ちてくる。
- ② 樹木がゆれたり、かたむいたりする。
- ③ 斜面から水がわき出る。
- ④ 斜面にひび割れができる。

立退き避難が困難な時は、がけから離れた部屋や2階などに避難しよう。

こんな変化に注意 土砂災害の前ぶれ(前兆現象)

身のまわりでこんな現象が起こったら、すぐに近所の人や役場に知らせ、安全な場所に避難しましょう。特に大雨が降っているとき、降ったあとは要注意です。

土石流の前ぶれ



- ① 川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、火花が見えたりする。
→ 上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり合いながら流れってくるため。
- ② 川や沢の流れがにごり、生の木が流れてくる。
→ 上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。
- ③ 山鳴りがする、異常なおいがする、地鳴りがする。
→ 上流で山が崩れているため。
- ④ 雨がふり続けているのに川や沢の水が減る。
→ 上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められているため。土石流の危険がせまっている。

土石流から逃げる時は、川から離れたなるべく高い所にあがろう。

地すべりの前ぶれ



- ① 池の水がにごったり、減ったりする。
- ② 山の樹木がザワザワとさわく。木の裂ける音や木の根が切れる音がする。
- ③ 地鳴りや山鳴りがする。
- ④ わき水がふえる。
- ⑤ 地面にひび割れや段差ができる

ここにあげたのは前兆現象の一例です。このほかにも「いつもと何か違う、変だ」と感じたら、役場や近所の人に知らせて安全な場所に避難してください。

土砂災害警戒区域の看板

近所にこういう看板はないですか？

がけ崩れ、土石流、地すべりの危険が大きい場所を示しています。これらの場所は特に注意しましょう。

